

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事業継続計画(BCP)の必須化に向け、ホーム独自の事業継続計画の作成に努め、災害発生後にもどのようホームを運営していくかについても明確にできるようにしたい	本部が必須化になることを元にきちらら全体として把握し、それをもとに都町の人員配置や行動をスムーズに災害に備えられるように準備する。	全体会議や避難訓練を通してBCP訓練を実施し話し合う場を設ける。又、運営推進会議等の席でも地域やご家族にも協力していただけると信じていく。	12ヶ月
2	2	コロナ禍が続いたため地域の方々、中学生の職場体験の受け入れ等を再開して、以前のように活動をきっかけに地域との交流、夏祭りなどの催しがあれば利用者様も地域に馴染めてきちらら都町を知っていただき、交流の場になつて欲しいです。	交流も少しずつ開放的になってきたので散歩や活動の場を広げることで顔なじみとなり、立ち話や、お祭りの輪に入り笑顔の多い施設にしたい	今年ば中学生の職場体験を受け入れ出来るので、それをきっかけに自治会行事への参加や協力日常生活(散歩や買い物などの外出機会)における地域住民の方々との交流を図り、まずはコロナ禍以前の地域交流の水準まで戻せるように努める。また、コロナ禍以前に行っていた、自治会の回覧板を活用した広報(きらら都町新聞の配布)を再開し施設周辺地域において日頃から顔を合わせやすい場所にお住まいの方でもそうでなくとも、きらら都町存在をより一層意識してもらえよう、認知度向上を図る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

(注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。